

国登録有形文化財<建造物>

きゅうまつくらくけじゅうたくしゅおく
旧松倉家住宅主屋

登録日 平成25年6月21日

所在地 菊池市隈府 上町



松倉家住宅は、仕出し屋を営んでいた松倉萬次郎氏の邸宅^{ていたく}として昭和7年に棟上されたことが棟木の墨書^{ぼくしょ}で確認されている。棟梁は中島軍次郎で、当時の図面が残されている点^{てん}も重要である。重厚な入母屋屋根^{いりもややね}の典型的な町家建築である。

仕出し屋は現在の歯科医院のところ^{にぎ}にあり、当時はこの^{かいわい}界隈に役所や登記所などの行政機関が多く所在したため賑わったが、正面にある隈府高等女学校(現・菊池高等学校)の教育風紀上良くないとの風評があり間もなく閉鎖された。

この主屋は邸宅として建てられたものであるが、食事処を経営している施主のこだわりによるものか、^{ひんきゃく}賓客をもてなすための建物かと思えるような内装となっている。その主な特徴は2階座敷の付け書院、透かし欄間^{らんま}、回り廊下と、2階にある2部屋それぞれに階段が設けてあることである。家人用と賓客用とを分ける目的があったと想定される。

現在は所有者との契約の基づきNPO法人「菊池まちづくり千年の風」の活動本拠地として、会合・講演会や企画展示会などに活用されている。